

## 取扱いの趣旨

細菌薬剤感受性検査は、起因菌が分離同定された時点で、感染症治療に対する適切な抗菌薬の選択や投与量の決定、有効性を判断する目的で実施する検査であり、菌が検出できていないと判断される疑い傷病名に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年9月30日》

289 疑い傷病名に対する細菌薬剤感受性検査の算定について

- 取扱い  
疑い傷病名に対するD019 細菌薬剤感受性検査「1」1菌種、「2」2菌種又は「3」3菌種以上の算定は、原則として認められない。
  
- 取扱いを作成した根拠等  
細菌薬剤感受性検査は、起因菌が分離同定された時点で、感染症治療に対する適切な抗菌薬の選択や投与量の決定、有効性を判断する目的で実施する検査である。  
疑い傷病名の場合は、起因菌が特定されていないことから、菌が検出できていないと判断され、本検査の対象とはならない。  
以上のことから、疑い傷病名に対するD019 細菌薬剤感受性検査「1」1菌種、「2」2菌種又は「3」3菌種以上の算定は、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	新潟、栃木、宮城、青森、鳥取、岐阜、京都、奈良、秋田	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城、青森、新潟	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	栃木、青森、岐阜、京都、宮城、奈良、鳥取、新潟、秋田	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名に疑い病名の他、感染症又は炎症性疾患に係る確定病名があり、抗菌薬の有効性を調べる必要があることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）  
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年4月～2025年6月審査分

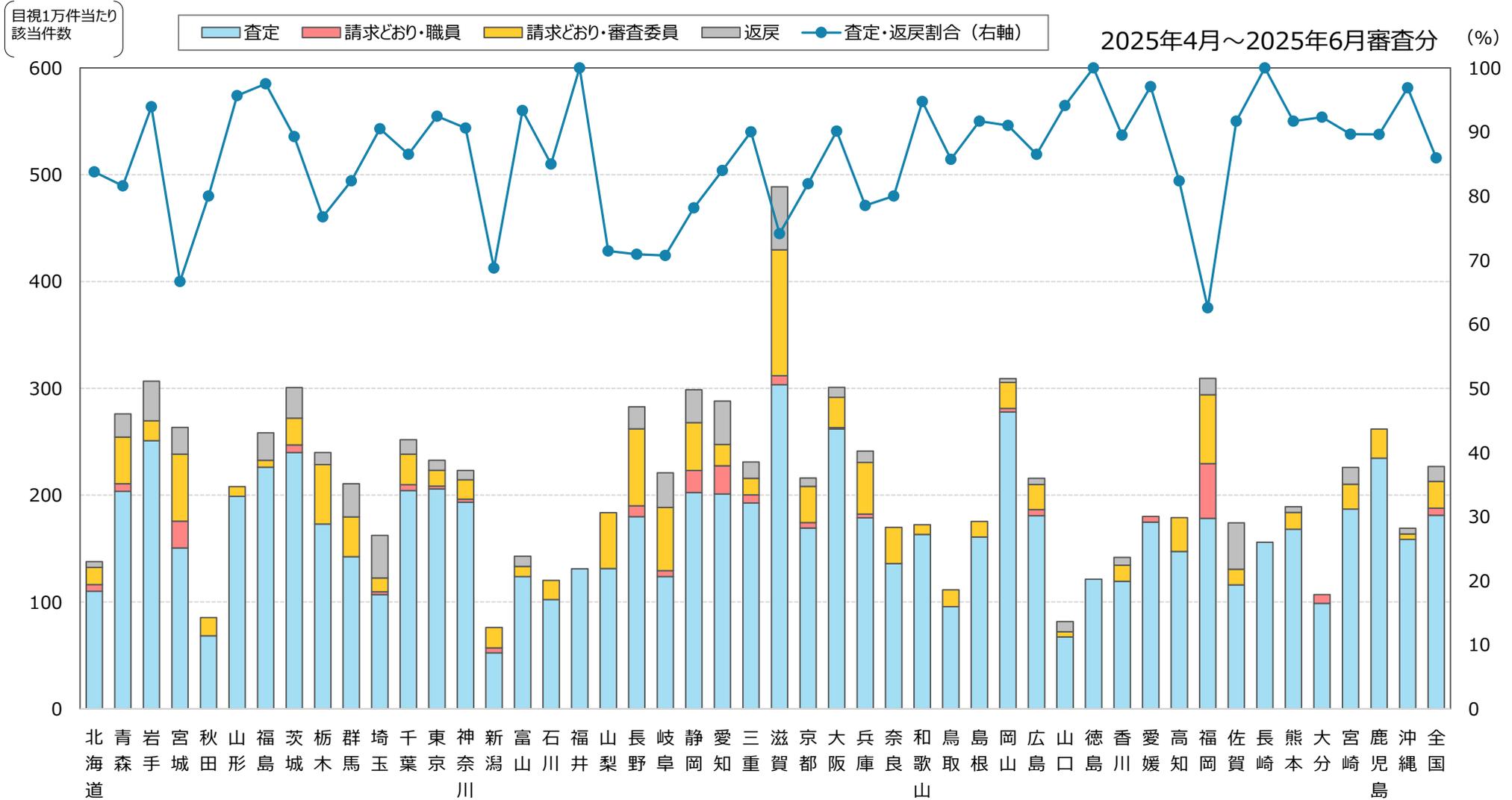
## 該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数3,566件のうち、**取扱いと異なる審査は147件（4.12%）**  
 検証対象29都道府県のうち、**フォローアップ対象は9都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)			
		計	適正審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
01 北海道	160				149	93.13%	128				
02 青森	38	32	84.21%	28	3	31	1	6	15.79%	1	5
03 岩手	33										
04 宮城	63	52	82.54%	36	6	42	10	11	17.46%	6	5
05 秋田	10	9	90.00%	8	0	8	1	1	10.00%	0	1
06 山形	23										
07 福島	40										
08 茨城	84	81	96.43%	67	8	75	6	3	3.57%	0	3
09 栃木	43	35	81.40%	31	2	33	2	8	18.60%	0	8
10 群馬	34	32	94.12%	23	5	28	4	2	5.88%	0	2
11 埼玉	126										
12 千葉	185	175	94.59%	150	10	160	15	10	5.41%	2	8
13 東京	530	519	97.92%	469	21	490	29	11	2.08%	3	8
14 神奈川	234										
15 新潟	16	12	75.00%	11	0	11	1	4	25.00%	1	3
16 富山	15										
17 石川	20	20	100.00%	17	0	17	3	0	0.00%	0	0
18 福井	15										
19 山梨	14	13	92.86%	10	0	10	3	1	7.14%	0	1
20 長野	55	54	98.18%	35	4	39	15	1	1.82%	0	1
21 岐阜	41	36	87.80%	23	6	29	7	5	12.20%	0	5
22 静岡	87	86	98.85%	59	9	68	18	1	1.15%	0	1
23 愛知	262	255	97.33%	183	37	220	35	7	2.67%	2	5
24 三重	30	29	96.67%	25	2	27	2	1	3.33%	0	1

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)			
		計	適正審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
25 滋賀	58				54	93.10%	36				
26 京都	83	73	87.95%	65	3	68	5	10	12.05%	0	10
27 大阪	456	435	95.39%	397	14	411	24	21	4.61%	2	19
28 兵庫	135	129	95.56%	100	6	106	23	6	4.44%	1	5
29 奈良	25	22	88.00%	20	0	20	2	3	12.00%	0	3
30 和歌山	19										
31 鳥取	7	6	85.71%	6	0	6	0	1	14.29%	0	1
32 島根	12										
33 岡山	89										
34 広島	74	69	93.24%	62	2	64	5	5	6.76%	1	4
35 山口	17										
36 徳島	11										
37 香川	19	19	100.00%	16	1	17	2	0	0.00%	0	0
38 愛媛	34										
39 高知	17	17	100.00%	14	0	14	3	0	0.00%	0	0
40 福岡	163	150	92.02%	94	8	102	48	13	7.98%	3	10
41 佐賀	12										
42 長崎	19										
43 熊本	36										
44 大分	13										
45 宮崎	29	29	100.00%	24	2	26	3	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	48	47	97.92%	43	0	43	4	1	2.08%	0	1
47 沖縄	32										
全国	3,566							147	4.12%	26	121

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	160	38	33	63	10	23	40	84	43	34	126	185	530	234	16	15	20	15	14	55	41	87	262	30	58	83	456	135	25	19	7	12	89	74	17	11	19	34	17	163	12	19	36	13	29	48	32	3,566
請求どおり件数	26	7	2	21	2	1	1	9	10	6	12	25	40	22	5	1	3	0	4	16	12	19	42	3	15	15	45	29	5	1	1	1	8	10	1	0	2	1	3	61	1	0	3	1	3	5	1	501

【該当件数】取扱いの趣旨に該当したレセプト件数